

中国・広州の大学生に日本文化を紹介

——新日鉄鉄鋼情報コンサルティング(北京)有限公司広州分公司

6月5日、中国の新日鉄鉄鋼情報コンサルティング(北京)有限公司広州分公司総経理で広州日本人商工会副会長を務める峯村保広と同分公司 莫婁娜が、同商工会による社会貢献活動の一環として、広東省広州市の暨南大学で講演した。

広州市では、大手日系自動車メーカーが現地生産を行っており、関係部品メーカーを中心に、広州日本人商工会に加盟する会員総数は680(うち法人529)を超える(2009年5月末現在)。日系企業の増加に伴い、現地の大学で日本語を学ぶ中国人学生の数も増加し、2009年度は広州市の9大学で約500名の新入生が日本語を学び始めている。

そこで広州日本人商工会では、毎月1回程度、日本語を学ぶ学生を対象に「大学キャラバン」を行い、日本人から直接、日本の企業文化や挨拶の基本などについて話を聞く機会を提供している。峯村総経理らは「日本の文化」というテーマで100名を超す大学生、大学関係者を前に講演。「桜の文化」「マンガ文化」「新日鉄の企業理念」の紹介を通じ、グローバル化が進む現代社会で中国ならびに他国の文化を理解する重要性を説いた。また、記念品として『日本～その姿と心～』(囲み記事)を贈呈した。講演終了後、学生から質問が

相次いだ。就職難の世相を反映してか、日本企業に就職する際の注意事項を尋ねる質問も多かった。

同分公司、および広州市でブリキの製造・販売を行う新日鉄グループの広州太平洋馬口鉄有限公司(PATIN)は、今回の講演や日本文化に関する書籍の贈呈、日本商工会と総領事館がタイアップして実施している日本語弁論大会の支援、板垣毅PATIN総経理が発起メンバーとなって進める「日中文化交流サロン」の支援などを通じ、日中両国の文化交流に貢献していく。



100万部を超えるロングセラー『日本～その姿と心～』

新日鉄グループの知的情報サービス会社・総合シンクタンクの(株)日鉄技術情報センター(JATIS)が出版する書籍『日本～その姿と心～』(株)学生社発行)は、外国の人々に日本の実情や日本人について紹介する実践的な本として、100万部を超えるベストセラーかつロングセラーとなっている。

同書は、新日鉄の社員が実際に外国人に質問された事例を集めて当社能力開発部が1982年に初版を発行。2003年にJATISが引き継ぎ、2006年5月には改訂第8版を出している。日本の地理、歴史、政治、経済、企業経営、社会、文化、風俗習慣などを日本語・外国語の対訳で説明。海外出張・外国人へのお土産や、身近で実践的な語学教材として、国内外で広く活用されている。

日英対照版、日中対照版の書籍のほか、日・英・中・韓4カ国語を収録したCD-ROM、英語ナレーション版DVDがある。また、本年1月、カシオ計算機(株)の電子辞書エクサワードに日英対照版が搭載され、目次見出しから目指す情報にすばやくアクセスできると好評だ(電子辞書は、書籍第8版を基に、2008年5月末現在で改訂)。

さらに、読者数550万人にのぼるニュース配信サイト、J-CASTニュース(<http://www.j-cast.com>)に、「日本の姿」として全文が掲載されている。



詳細は JATIS ホームページをご覧ください。
URL http://www.jatis.jp/business/publication/top_nippon.html